

少年の日の夢のせて

北杜市立白州中学校
学校だより
令和3, 3, 10
NO, 13
文責 白倉美奈子



卒業おめでとう！
そして
ありがとう！！



3年生の皆さん、いよいよ明日は卒業式ですね。中学校最後の授業となります。白州中学校みんなの力で、心のこもった式にしたいと思います。

もうすぐ桜の季節です。白州中でも校庭の桜が4月には見事な花を咲かせてくれると思います。桜は美しく凛としていて、日本の代表的な花です。日本の桜は、ソメイヨシノという種類が多いのだそうです。時期になると一つまた一つと咲いていくのですが、気がつくと一緒に満開になります。先に咲いた花は、先に散ってしまわないのでしょうか。驚いたことに、先に咲いた花は最後の



桜が咲くまでじっと待って、満開を迎えるのだそうです。咲く早さは違っていても、全部の花が咲くまで待って、みんなで満開の時を迎えるソメイヨシノの話聞いたとき、「ああ、今年の3年生のようだなあ」と思いました。

一人一人には個性があり、成長の早さも時期も異なります。わかっていてもつい誰かと比べて、焦ったり、立ち止まって動けなくなったりしたこともあったでしょう。でも、少し先に待っていてくれる友がいたり、一緒に歩いてくれる人がいたり、そんなことがもう少し頑張ってみようと思える力になったのではないのでしょうか。「友だちが笑ってくれるとうれしい」とか、「自分が誰かの支えになったかな」とか思った瞬間がきつかったと思います。仲間を思い合うことは相手のためだけでなく、実は自分も大切にされているということですね。満開の時をじっと待つ桜のように、みんなで大きな花を咲かせた3年生でした。

中学校3年生のこの1年は、皆さんにとってかけがえのないものであったにもかかわらず、すべての場面に新型コロナウイルス感染症への対策が求められた毎日となってしまいました。それでも希望を失わず、仲間を大切に、感謝の気持ちを忘れなかった3年生に、私自身どんなに励まされたか押しきれません。中学校卒業後は、それぞれの道を進む皆さんですが、小学校からずっと一緒に過ごしてきた仲間との絆をこれからも大切にしていってください。そして、白州中学校は皆さんの母校です。うれしとき、辛いとき、寂しいとき、いつでも遊びに来てください。皆さんの幸せを、先生方も、在校生もみんなで祈っています。

3年生のために、1、2年生が心を込めて歌った「福笑い」。「幸せだから笑うのではなく、笑うから幸せになれる」今年のごまさと祭のテーマも「Sm i l e」でしたね。私も笑顔でいることを大切にしたいと思っています。

この歌をどこかで聴いたときは、白州中学校のことを思い出してもらえたら嬉しいです。

きつとこの世界の共通言語は 英語じゃなくて笑顔だと思う

笑う門に訪れる何かを 愚直に信じて生きていいと思う

誰かの笑顔につられるように こっちまで笑顔がうつる魔法のように

理屈ではないところで僕ら 通じ合える力を持つてるはず

あなたがいつも笑えていますように

心から幸せでありますように

それだけがこの世界の全てで どこかで同じように願う 人の全て

卒業おめでとうございます。

